

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、従業員、取引先、地域社会をはじめとする多様なマルチステークホルダーとの適切な協働に取り組みます。生み出された収益・成果については、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮等について、以下の取組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、JR 東日本グループの一員として、社員を主役に働きがいを創出し、それぞれの能力を最大限発揮することにより、生産性向上を実現することが、社員と当社の持続的な成長、ひいては当社の創り出す付加価値の最大化につながるるとともに、社員・家族の幸福を実現すると考えます。社員が創意工夫を重ね、果敢にチャレンジすることで生み出した収益等については、賃金の引上げを含む総合的な処遇改善をはじめとした様々な人財への投資や育成を積極的に行うことを通じて、従業員への持続的な還元に取り組んでいます。

具体的には、当社を取り巻く経営環境や業績、中長期的な見通し等を踏まえ賃金の引上げや夏季・年末手当の支給、役職手当の見直し、介護職員への処遇改善手当の支給等をはじめとした労働条件の改善に取り組むとともに、社内アカデミー制度を活用した社内資格取得者増や研修・会議を通じた人財育成等に取り組めます。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言の掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/60976-15-00-tokyo.pdf>】

これらの項目について、取組み状況の確認を行いつつ、着実な取組みを進めてまいります。

以上

令和6年5月 15 日

JR 東日本スポーツ株式会社
法人名

代表取締役社長 穴吹 昌弘
役職・氏名(代表権を有する者)